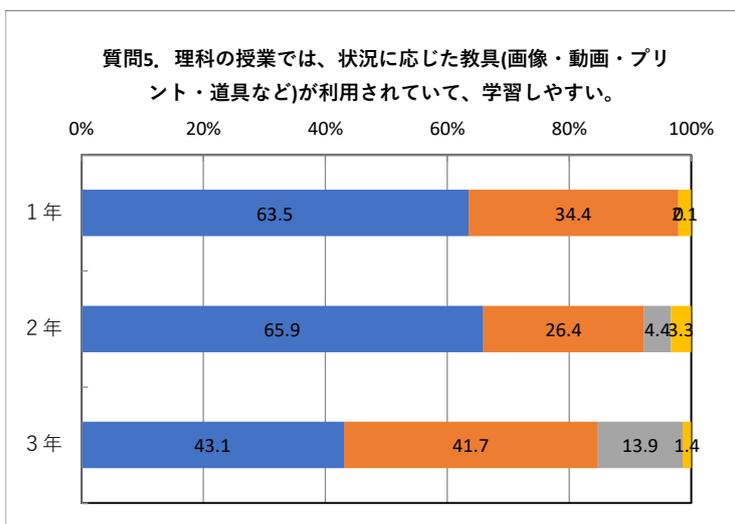
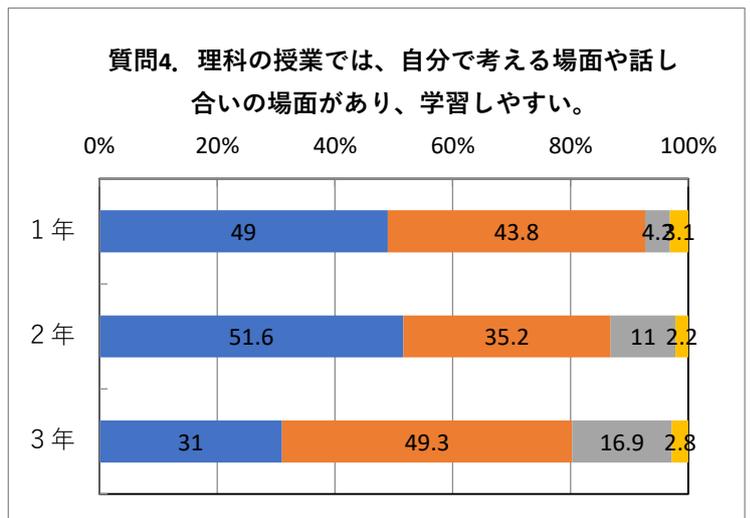
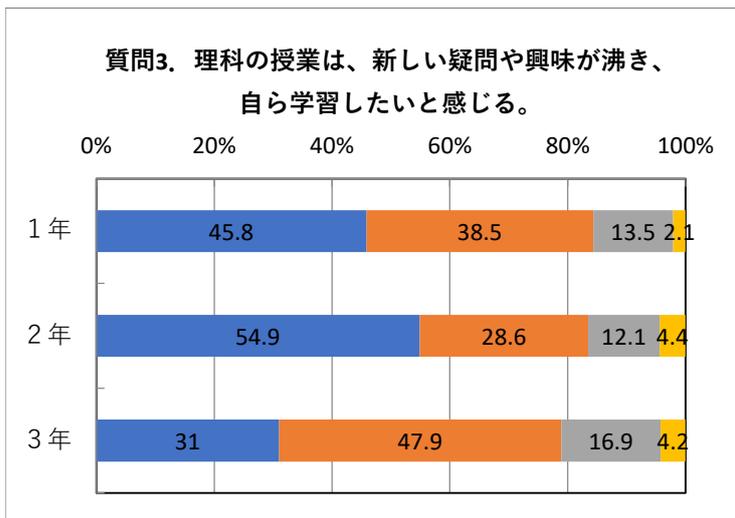
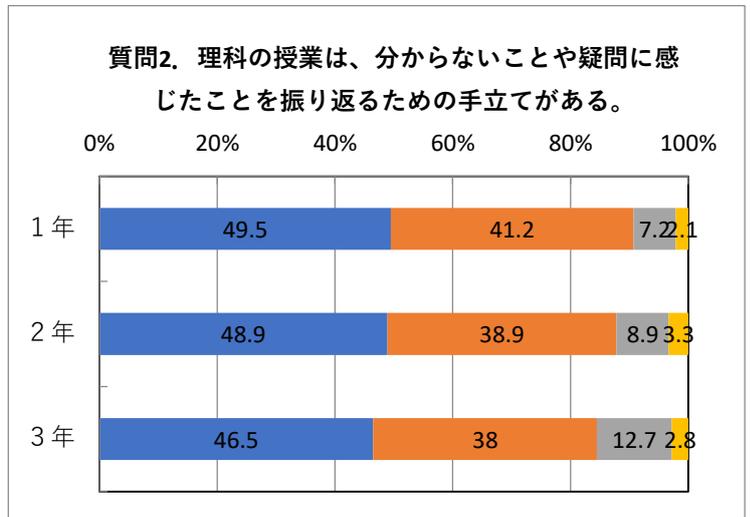
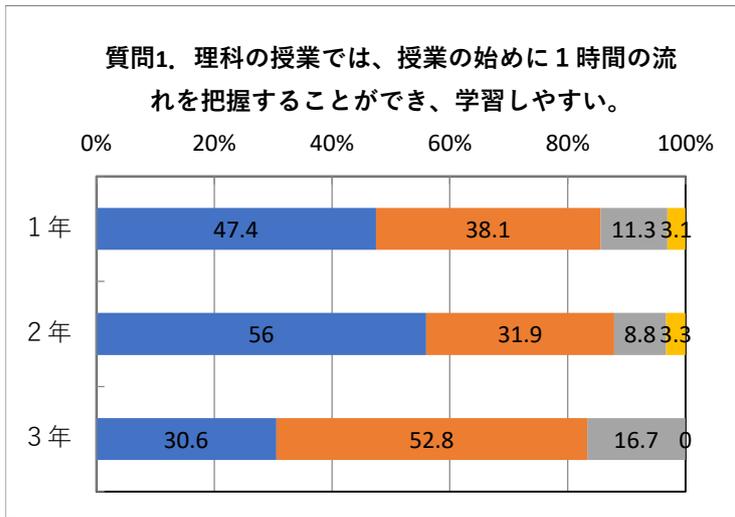


令和3年度 学校評価 授業編【理科】 アンケート集計結果 調布市立第八中学校



【7月】



【分析】
 [1年] 「質問1」「質問3」について、授業の目標はしっかりと伝えてきたが、それでも授業の流れを把握し自ら学習することが苦手な生徒が学級に5人程度いたと考えられる。また、「質問5」からは、教具の工夫によって学習しやすいと感じていることが明確になった。
 [2年] 全体的に肯定的な回答が多いが、「質問2」については青帯と橙帯との差が10ポイントほどしかみられなかった。このことから、振り返りをする手立てが十分にあると感じられていない生徒が半数以上いることが分かった。
 [3年] 「質問1」「質問3」「質問4」について、青帯の回答が約30%なのに対して、灰帯の回答が約17%見られ、授業に参加している実感を十分にもつ生徒の割合が低いと読み取れる。

【課題】
 [1年] 個別指導や教えあいなどによって、全ての生徒が流れについてこれる授業づくりに努める必要がある。また、新しい疑問や興味を持たない生徒に対しては、教具の利用しやすさを活かして、生徒自らが学んだことや自身の考えを広げる時間をとることが重要となる。
 [2年] 自ら積極的に学習活動に取り組む生徒に対して、どのようにして学習した内容の整理を促すが今後の課題となる。これまで振り返りシートを使って授業の振り返りをさせてきたが、内容の改善やシートの活用方法などに工夫を凝らす必要がある。
 [3年] 知識や考え方を伝えるだけでなく、生徒自身が考え学べるように、活動回数や時間を増やすことで生徒の参加意識を高めていく必要がある。また、授業を通して生徒が身につけるべき資質・能力を伝えることで授業の流れや目標を生徒自身で意識できるようにしたり、振り返りをさせて新たな疑問や興味を引き出させることで授業への参加意欲を高めたりすることも重要となる。